



こんにちは!

市議員 井坂博文 です



連絡先/日本共産党北地区委員会：京都市北区紫野雲林院町 78 / 電話 432-3261 / FAX441-4968

自公2敗 安倍政権に打撃

衆院補選 沖繩3区 デニー知事後継 新基地ノゾー 屋良氏圧勝

夏の参院選の前哨戦として各党が総力をあげた衆院沖繩3区、大阪12区の両補選が21日投票され、沖繩3区で名護市辺野古米軍新基地ノゾーの「オール沖繩」の屋良朝博（やら・ともひろ）氏が、自民党の島尻安伊子氏に公明党、日本維新の会推薦を破って当選を果たした。玉城デニー知事が圧勝した昨年の知事選、新基地建設のための埋め立て反対の圧倒的民意を示した今年2月の県民投票などに続き、屋良氏の勝利で、安倍政権に新基地断念を求める沖繩の揺るがない圧倒的な民意を、再び突き付けた。

大阪12区でも公明推薦を受けた自民党候補が維新に敗れた。共産党の国会議員では初めて無所属で出馬した宮本岳志氏（59）に共産、自由推薦は、自主支援した立憲民主党や国民民主党の支持者らも集まった会場



で「残念な結果だが、歴史的で感動的な戦いをさせていただいたことに感謝する」と笑顔で述べた。

選挙戦では「無所属」「市民と野党の共闘」を強調し「野党統一候補」をアピールし、夏の参院選に向けた野党共闘の試金石として注目された。「この戦いを参考に、野党共闘のあり方を市民と野党で探求する流れは一層強まる」と前を向いた。

同時に行われた衆院2補選で自公が2敗するのは安倍政権下で初めてのことで、

4月8日、京都市会議員選挙が終わるのを見計らったように、京都市が自衛隊京都地方協力本部へ、2019年度に18歳（1万4751人）・22歳（1万1850人）になる若者2万6601人分の個人情報（住所・氏名）を宛名シールで提供した。さらに、個人情報を受け取った自衛隊京都協力本部は、幹部候補生（5月1日応募締め切り）として募集する22歳になる若者あてにダイレ

市議選投票日の翌日 自衛隊に名簿提供

本人同意なしの提供は今すぐ中止を

クトメールを送った。このことは京都市と自衛隊が綿密に連絡を取り合っていたことを示すものだ。

現在の自衛隊は、安倍政権の安保法制強行によって海外で武力行使を伴う任務を負っており、京都市の協力で自衛隊へ入隊した若者が、海外の戦闘地域へ送られ命の危険にさらされるとともに、他国の人を殺害するおそれもある。

京都市は「戦争協力事務は行わない」とうたわわている1983年の市会決議

「非核・平和都市宣言」の立場に立ち、自衛隊への若者の名簿提供は中止すべきだ。

福岡市では「市の個人情報保護条例に抵触する」「市条例では『法の定めがあれば個人情報提供できる』が、自衛隊法施行令は具体性に欠け、定めとは言えない」と説明し、宇治市では「住民基本台帳法には閲覧の規定がなく、市の個人情報保護条例に基づいても提供はできない」として

都市の「法の定めがあれば個人情報提供できる」との主張は、法的根拠が欠けるものと言わざるをえない。若者本人の同意なしに自衛隊へ名簿を提供することは、憲法13条で保障された「個人の尊厳」「人格権」「プライバシー権」の侵害であり、今すぐ中止すべきだ。

京都市はこれまで「個人情報の利用停止請求が行われた場合は・・・自衛隊へ提供する宛名シールから除

る。このような対応をしている自治体があるように、京



外する」とホームページ上（2月20日付）で発表していた。にもかかわらず、提供の具体的時期を全く明らかにせず、対象となる若者への意思確認も行わないまま、一方的に名簿提供を強行したことは、市民との信頼関係も大きく壊すものであり、断じて許されない。

京都市には強く抗議し名簿提供方針の撤回を求め、自衛隊には一般自衛官の募集にあたって京都市から提供された宛名シールを利用しないように求める。